



Weekly Report

創立: 1980年(昭和55年)1月10日

会長: 大島 浩嗣

幹事: 稲葉 徹

会報委員長: 高木 勝

例会日: 毎週木曜日 PM12:30~

例会場: ヒルトン名古屋

事務局: 460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3

ヒルトン名古屋910号

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

Mail: 2760nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

CELEBRATE ROTARY

2004~2005年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーを祝おう 2004~2005年度 R1会長グレンE・エステス・シニア

第1188回例会

~識字率向上月間~

2004年7月8日(木) 晴 第2回

- 司 会 : (西本 哲会場副委員長)
- 体 操 : ストレッチング(倉澤 寛会場委員)
- 斉 唱 : 「我等の生業」
- ゲ ス ト : 朝日新聞名古屋本社経済担当部長 和氣 靖氏
: 米山奨学生 金 玖植君
- ビ ジ タ ー : あまロータリークラブ 栗木和夫君 他1名
(内田久利親睦活動副委員長紹介)

会長挨拶

大島浩嗣会長

皆さんこんにちは。7月は識字率向上月間であります。非識字克服こそ今後のロータリーの最重要課題として1997年に指定されました。また、国連においても緊急課題として識字問題を取り上げ、2003年から2012年の10年間に「世界識字の10年」に指定しています。非識字と貧困は、悲惨な悪循環を繰り返し、今、世界の非識字人口は9億とも10億とも言われています。世界の15才以上の大人の四分の一に当たり、その99%は途上国の住民であります。非識字は3つの点で人類を暗くしています。



その第1は貧富の差による世界的社会不安の高まりです。近年、デジタルデバインドという言葉が聞かれます。インターネットをはじめとする情報技術を駆使できるものと、それに残り残された人たちの決定的な格差を意味し、現状のままですと世界人口の五分の一の先進国の高度技術がますます進歩し、南北間の貧富の差がさらに広がって世界的社会不安の一層の拡大があげられます。

第2は人口問題です。現在世界の人口は60億を超えました。さらに年間1億の人口増加をつづけています。人口増加の99%は途上国で見られる現象であります。人口増加を抑制する有効な手段は、母親たちの教育といわれています。途上国の子女が中等教育を受けるだけで出生率が先進国並みになることが知られています。教育、特に女性の教育が有効な方策といわれています。

第3がエネルギー問題と地球の環境保全です。非識字者は概して環境保全に関心であり、環境教育についても非識字が大きな障害になっております。国際紛争、人口爆発、環境破壊という21世紀が直面する最大の危機は、非識字によってもたらされていると言っても過言ではありません。日本は不況のさなかにあるといっても1人当たりの総所得が日本より2桁低い国の人たちの識字率向上のために、今すぐ援助の手を貸さなければ地球市民全体にとって取り返しのつかない事態を招

く恐れがあります。これは、識字及び教育推進グループ北アジア担当エリアコーディネーターでもある高崎北ロータリークラブの重田正信さんの、2003年7月のロータリーの友に発表された原稿より要約してお話をさせていただきました。

幹事報告

稲葉 徹幹事

- ・本日例会終了後、13時35分より「第1回クラブアッセンブリー」並びに「第1回理事会」を4階「藤の間」にて開催します。関係各位はご出席お願いします。
- ・次週7月15日(木)は「第1回クラブフォーラム(決算・予算)」です。
- ・会員の橋本章君から、6月24日より約2週間、検査入院の証明書が来ております。名古屋市立大学病院消化器内科に入院されており、先週大島会長と私、稲葉でお見舞いに行き参りました。

臨時例会変更のお知らせ

名古屋空港RC / ※7月19日(月)

7月26日(月)

名古屋栄RC / 8月2日(月)

名古屋南RC / 8月4日(水)

(注) ※は休会につきビジター受付はありません。

<名古屋錦RCビジターフィー変更のお知らせ>

2004年7月6日(火)より現行3,000円→2,500円

出席報告

落合 諭出席副委員長

会員75名 出席55名 (出席計算人数57名)

出席率73.68%

7月1日は補填により 85.96%

6月24日は補填により 96.49%

6月17日は補填により 96.49%

ニコボックス

大江健一ニコボックス副委員長

・本日卓話をさせていただきます。

朝日新聞名古屋本社経済担当部長 和氣 靖様

・7月20日は70才の誕生日です。第一例会は北欧3カ国へ行って
ていました。 岩田 吉廣君

・7月31日は77回目の誕生日です。 鈴木 圓三君

・今月は私と妻の誕生日です。きれいなお花を有難うございました。
内田 久利君

・大島会長、稲葉幹事、体に気を付け頑張ってください。S.A.Aを
つとめます。皆さんよろしく。 近藤 雄亮君

・今年度もどうぞよろしく。 森 恒夫君

- ・本年度は会員増強をさらに真剣に対処せねばなりません。
会員増強にご協力を！ **大和 哲郎君**
- ・大島会長、稲葉幹事1年体に気を付けて。 **岩根 敬泰君**
- ・大島会長、稲葉幹事の船出を祝して。 **増田 盛英君**
- ・大島新会長始め役員・理事の皆さんご苦労様です。 **湯地 輝雄君**
- ・暑いです。 **細川 達也君**
- ・全く暑いです。年をとると暑さが身にしみます。 **中川啓二朗君**

委員会報告

<クラブ会報委員会:高木 勝委員長>

ガバナー月信をペーパーベースで希望される方が多数おられます。ですがコストと時間がかかるため、なるべくネット上での閲覧、もしくは事務局に何部かご用意しておりますのでそちらをご覧くださいませようご協力お願いします。ガバナー月信を印刷したものをご覧ください、再度アンケートをとり皆さんのご意見を伺うつもりです。よろしくお願いします。

<親睦活動委員会:岩田修司委員長>

7月29日、夜間例会を予定しております。場所はノリタケの森レストラン「キルン」にて18:00より開会いたします。

卓話

朝日新聞名古屋本社経済担当部長 和氣 靖氏

「内と外から見た名古屋経済」

私は1980年代の前半、名古屋で駆け出しの経済記者をしていました。当時はどういった頃かという、トヨタ自動車は工販合併、松坂屋のお家騒動などがありました。その後、東京と海外を往復することが多くなり、名古屋との接点はありませんでした。この4月にあらためて東京から転勤して参りまして、今なお鮮明に残る20年前と現在の比較、海外にもおりました経験から外から見た名古屋をお話出来ればと思います。



二昔前に比べ、名古屋の外見上の違いと構造上の違いとして、ふたつ目につくことがあります。外見上の違いはセントラルタワーズをはじめとする名古屋駅前の変化。都市高速環状線の建設、栄地区では松坂屋南館の増築、パルコ、ナディアパークなどの大型店ができ、かつてより活気があります。構造上の違いは、トヨタの圧倒的な存在感が20年前と比べものにならないということです。当時トヨタは三河の企業として製造業で大きな力を持っていましたが、名古屋財界と距離を置いているという印象でした。今では様々なイベント、来年の万博や中部国際空港についてもトヨタの大きな関わりなくしては動かない状況となっています。そして東海銀行がなくなったことです。合併をしUFJ銀行として営業しておりますが、東海銀行とは別のものだと考えております。

トヨタの大きな存在感と東海銀行の衣替えが名古屋の経済界の動きにおいては非常に大きい変化であると思います。

この3月までは東京で勤務しておりましたが、そこから見

て思いましたのは、名古屋は元気だということです。今年に入ってから経済雑誌が名古屋特集を組むなど名古屋経済の強さを物語っているのだと思います。ですが本当の意味で名古屋は強いと言えるかという疑問があります。現在、大阪を中心とした関西地区が厳しい状態にあり、全国的に見ても景気はよくありません。そのような状況の中で名古屋は相対的に強いととらえられているのではないかと思います。今年3月期決算において、東海地区に本拠を置く上場企業を数字で見ますと、トヨタ、及びトヨタグループの売上高は約4割を占め、経常利益では6割を占めます。この数字を見ても分かりますように、トヨタ及びトヨタグループがこの地域で非常に大きな存在感であることはご存じのことと思います。逆を申しますと、トヨタの好調さがこの地域の元気の裏打ちになっている事実は否めません。これが名古屋が真の意味で強いかというまた別の問題となります。

名古屋が好調だと言われる理由の一つに、東海地区の経営者のビジネスに対する堅実な取り組みが、不況の世の中において功を奏していることが挙げられます。リスクを極小化し、経営を順調に進めていくという経営手法です。それでは景気が底をつき、拡大局面に入ったのではないかとされているこれからは、今までの堅実な経営手法を問われている時ではないかと思われま。景気が回復傾向にある時には、リスクを大きくとる経営手法が効果的とされています。今、関西で新しい産業として注目されているナノテク・バイオテクノロジーといった新しい分野への投資・ベンチャー企業の参入が、東海地方でどれほど行われているか見ますと、非常に数が少ないです。リスクが高いと思われる分野への投資、企業の参入がこの地域ではまだ充分ではありません。

では今の景気回復局面がこれからもさらに拡大するのかと申しますと、あまり長くは続かないのではという考えであります。今のままでいきますと世界全体が経済の調整局面に入り、様々な紆余曲折が予想される中では、これまでと同様に名古屋の堅実な経営手法をとり、地域全体で企業を支えたとともに、この地域をかさ上げしていく流れの方が現実味をおびていると思います。ただそういった中、気がかりなのは万博終了後にどういった状況になるのかはなかなか見通しが難しいところです。ですがその場面に直面した時、名古屋経済の真価が問われる時期かとおもいます。そのために中部国際空港がどのように機能するかが大きな鍵になってくると考えています。

私ども朝日新聞は地域の皆様に身近な情報をお伝えするべく取材活動をしておりますが、こちらで大きく扱われている内容でも、東京などではあまり大きく報じられていない状況にあります。全国レベルのニュースと地域の皆様に身近なニュースをいかにお伝えするかが私どもの課題となっております。

今週行事

7月15日(木)

第1回クラブフォーラム(決算・予算)

次週卓話予定

7月22日(木)

会員卓話：高須 洋志君

テーマ：「アルピニズムとフリークライミング」